



おおいたの 地域を担う ひとつづくり



VOL.13

平成30年8月発行

「OJIC(オージック)」とは、O:大分県 J:自治人材 I:育成 C:センターの通称です。

TOPICS

■通信講座、皆さん知っていますか？

OJICでは、職員の皆さんの自己啓発を支援する目的で、通信講座の受講を支援しています。

今年度は191の講座を開講し、受講料の2分の1（上限15,000円）を助成します。

昨年度最も人気があったのは、日商簿記検定3級コース（3ヶ月コース）でした。

受講期間は短いもので2ヶ月のものもあり、毎年受講している方もいらっしゃいます。

OJICホームページ（<http://ojic.or.jp/>）に全コースの詳細を載せています。また、以下のQRコードからもご覧いただけます。

たくさんのお申し込みをお待ちしております。

申込期限：毎月10日※

※10日が土日祝日の場合、
締切は翌日

通信講座



平成29年度 受講者数が多かった通信講座

- | | | |
|-----|---|--------|
| 第1位 | 日商簿記検定3級コース | 3ヶ月コース |
| 第2位 | 日商簿記検定2級受験 | 4ヶ月コース |
| 第3位 | 仕事力がアップする
「速脳速読トレーニング」 | 2ヶ月コース |
| 第4位 | 『日経WOMAN』で輝きアップ
～自信をつける！チャンスへ踏み出す！ | 2ヶ月コース |
| 第5位 | ～ Win-Winの関係をつくる ～
説得・交渉力を高める | 2ヶ月コース |
| // | 時短&ムダ取りで
仕事の効率50%アップ！ | 2ヶ月コース |
| // | Excelデータ集計・分析技あり
(2016・2013・2010対応) | 2ヶ月コース |
| // | Excelマクロ&VBA入門
(2016・2013・2010・2007) | 3ヶ月コース |

託児サービスをご利用ください！

OJICでは事業者による託児サービス（未就学児対象）を手配しています。

育休中の県・市町村職員の皆さんも安心して研修を受講することがありますので、お気軽にご利用ください。

周囲に育休中の職員がいる方、職員研修担当者は、育休中の職員の方に積極的にご案内ください。

◎自己負担：なし

◎事前申込：必要

◎対象者：育休中に研修受講する
大分県・市町村職員

【申込先】

（県） 総務部人事課人材育成班
（市町村） 各市町村の研修担当

事務局 からの お願い

OJICでは、県に準じて節電対策に取り組んでいます。

このため、気温や湿度の状況を確認しながら空調管理を行っていますので、ご自身でも調整できるような服装でご参加いただくなどご協力をお願いします。

県職員研修

新採用職員研修(前期)

対象：新採用職員 195名

実施日：【共通日】平成30年4月3日(火)～6日(金)

【組別日】第1組：4月12日(木)、第2組：4月13日(金)



由布岳と桜に囲まれて朝のラジオ体操

職務遂行の基礎となる知識・技術を修得し、社会人としての基本的な姿勢を身につけるため、今年度新たに採用された県職員を対象に、3泊4日の宿泊研修を行いました。昨年度までの「マリンカルチャーセンター」から「城島高原ホテル」に研修会場を移し、雄大な山々と美しい桜に囲まれた豊かな高原の中での研修となりました。

「県の組織と仕事」、「長期総合計画」などの庁内講師による講義に加え、外部講師による「接遇」や「県民の声を聴く講座」など数多くの講義を受講し、頭をフル回転させた後は、ゆっくり温泉に浸かり、美味しい料理を食べながら職員同士会話を弾ませ、互いに交流を深めることができたようです。

また、グループアドバイザーとの意見交換会では、先輩のリードで緊張が解け、たくさんの笑顔が見られました。今後も先輩方の温かいサポートを受け、早く県職員として馴染んで欲しいと思います。

受講者の声

- 今後県職員として働くために必要な知識やマナーなど数多くのことを学び、やる気に繋がった。
- 研修を通して、同期の存在の大きさを感じた。これから仲間を大切にしていきたいと思います。

中堅職員研修「働き方改革」

対象：採用4年目以降かつ平成5年4月1日以前に生まれた職員

採用2年目職員（社会人経験者試験等採用者） 165名

実施日：6月5日(火)～6日(水)



人事課 大平主幹

本研修は、中堅職員としての資質や職務遂行能力の向上を図ることを目的に2日間の日程により実施しました。

和田大分県総務部長から県職員を取り巻く状況の変化を踏まえた「中堅職員への期待」と題した講話や大分大学石川理事による「公務員基礎講座」など2日間で8つの講座を実施しました。そのうち、「働き方改革」の講座では、人事課大平主幹より、本県における時間外勤務の現状や本年度から始まる勤務時間管理システムなどの取り組みについて説明があり、特に職員一人ひとりが意識を持って、これまでの働き方を見直し行動を変えていくことの重要性をお話いただきました。

また、1日目の研修後には希望者による意見交換会も行われ、70名以上が参加して大変盛況でした。

受講者の声

- スケジュール管理や業務内容を見直して意識的に取り組みたい。
- 情報共有を積極的に行い、効率的な仕事が行えるよう心掛けたい。

市町村職員研修

新採用職員研修(前期)

対象：平成30年度新規採用職員及び平成29年度中途採用職員 266名

実施日：平成30年4月及び5月(全4組)

講師：(株)プレスタ임九州 代表取締役 米澤 金作 氏

別府大学文学部 教授 佐藤 敬子 氏

県職員講師、市町村職員講師



別府 豊泉荘にて研修受講中の新採用職員

本研修は、「公務員としての自覚と意識の確立」、「職務遂行に必要とされる基本的な知識、技能及び態度の習得」、「職場への適応能力の養成」を目的に、別府市の豊泉荘において2泊3日の合宿形式で実施しました。

研修では8つの講座(「先輩からのメッセージ」「職場の人間関係・組織と仕事」「文書事務」「地方公務員制度」「個人情報保護について」「接遇」「ビジネスマナー」「公務員倫理」)を実施し、研修生は座学やグループワークを通して公務員として必要な基礎を学びました。

また、意見交換会や共同生活を通して、他市町村の同期職員と出会い、積極的に交流を深めている様子も見受けられました。

ぜひ、研修生の皆さんにはこの研修で学んだことを忘れずに、これからの公務員人生を一步步づつ着実に歩んでいただきたいと思います。

受講者の声

- 公務員としてのマナーや心構えを学ぶことができた。
- 全体の奉仕者として公共の利益のため全力で職務にあたりたい。
- 市町村を越えた同期のつながりができた。これからも大事にしたい。

■「コミュニケーション能力向上研修」受講者募集!

市町村職員にとって、コミュニケーション能力は日々の業務を行う上で最も重要な能力と言っても過言ではありません。またコミュニケーションにも、様々な「切り口」があり、その場面に応じた効果的なコミュニケーションスキルやスタイルを発揮することが求められます。

本研修は、職場内のコミュニケーションの重要性を理解し、「相手に伝える・伝わる」ためのコミュニケーションスキルを習得することを目的に実施します。

講師は「社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった」の著者である(有)香取感動マネジメント代表取締役の香取貴信氏です。この研修は、平成28年度に各市町村の研修担当者を対象とした「研修担当者研修」において実施したところ、大変好評であったことから、今年度、新規研修として設けられたものです。

第1組を12月11日(火)、第2組を12月12日(水)に実施しますので、皆さんの積極的な参加をお待ちしております。



合同研修

地域政策スクールが開講しました!

対 象：おおむね主任・主事級の県職員10名及び市町村職員5名

実施期間：平成30年6月18日(月)～平成31年2月6日(水) (延べ27日間程度)



嶋田先生による講義

〇JICで行われる数多の研修のうち、8ヶ月間という長期におよぶ最もハードな研修と言われる研究型政策形成研修「地域政策スクール」が6月18日にスタートしました。専任講師は本研修を担当して15年目を迎える九州大学大学院法学研究院の嶋田教授です。今年度も県と市町村（大分市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町）から15名の精鋭が集まり、3つのグループに分かれて、地域課題を解決するための調査研究に取り組んでいます。

報告書作成及び研究成果発表会に向けて、専任講師や外部講師による講義や原課との意見交換、先進地視察など、様々なカリキュラムを準備しています。

研修生の職場の皆さんには負担をおかけしますが、研修終了後には大きく成長した姿を見ていただきたいと思いますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いします。

今後の主なスケジュール

このほか専任講師による研修やグループ別研修の実施を予定しています。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ● 8月6日 原課との意見交換 | ● 12月末 報告書作成期限 |
| ● 8月22日 PPTプレゼンテーション講座 | ● 2月5日 研究成果発表会(県庁本館正庁ホール) |
| ● 9月3日 中間発表(自治人材育成センター) | ● 2月6日 研修振り返り(閉講) |

倉原常務の研修雑感

設立5年目を迎えた自治人材育成センターでは、市町村及び県それぞれの新採用職員研修前期が終わり、他の階層別研修も着々と実施されています。また、各種のキャリアアップ研修の受講風景を見つつ、かつての自分がもう少し積極的に研修を受けていたら、と思わずにはいられない今日この頃です。

多くの研修に同席して強く感じるのは、受講者にできるだけ研修効果を挙げてもらおうという講師の熱意です。アイスブレイクや質疑応答のタイミングなど随所に受講者の集中力を高める工夫がなされています。これなら若かりし頃の私でも眠らずに、もとい、睡魔と闘うことなく受講できたのではと思っています。そういう工夫に加えて、各講師の経験に裏打ちされた貴重な内容が聴けま

す。ある講師からは「住民の皆さん全員が満足する政策はできなくても、納得はしていただける。そういう努力や姿勢、日々の積み重ねが大切」という、行政に携わる者全員に有益な教えを受けました。

こういった研修の良さをまだ受けていない皆さんにどうすれば伝えられるか、「そんな研修なら自分も受けてみようか」と思っていただけに、事務局一同さらに知恵を絞っていきたいと考えています。

今年度、〇JICでは、県職員研修63講座、市町村職員研修72講座、うち38講座は合同研修を用意しています。平成が幕を閉じる年度にあたり、さらに多くの皆さんが研修に参加していただくことを期待しています。

編集後記

今回は、トピックスとして通信講座の紹介をしました。私は、今年の4月から〇JICの職員となりましたが、通信講座がこれほど充実していることを知りませんでした。今年度は、自己研鑽のため何か講座を受講してみようと思っています。皆さんも是非、通信講座を受講してみたいかがでしょうか。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

(事務局)